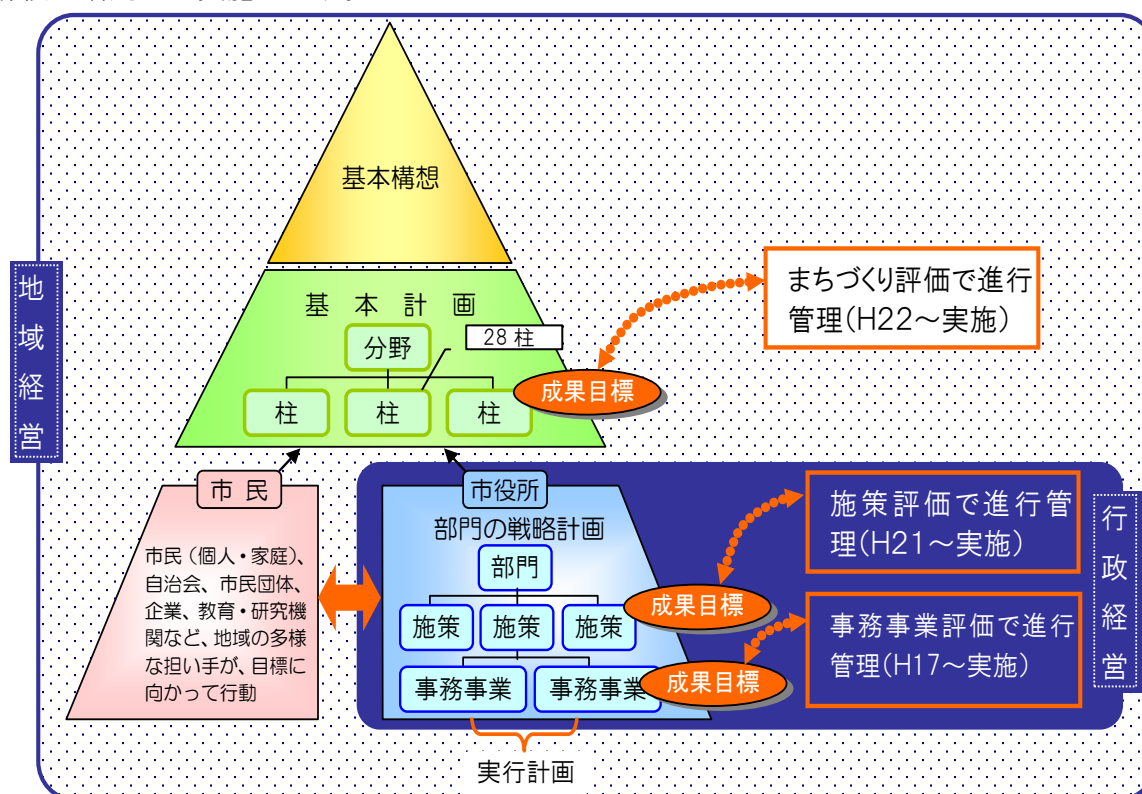


まちづくり評価について

1. 江南市戦略計画の進行管理

江南市戦略計画の進行管理は、まちづくり評価・施策評価・事務事業評価の3つの行政評価を活用して実施します。



【行政評価による進行管理のイメージ】

2. 行政評価の機能

①まちづくり評価

基本計画に掲げられた各分野の「成果目標」について、その達成度を測定し、より良いまちづくりに向けての今後の取り組みの方向性を明らかにします。

まちづくり全体の進捗状況（市民生活や地域社会の状態）を把握することを目的とします。

②施策評価

事務事業より上位のレベルで成果を把握し、行政活動の大きな方向性を明らかにするとともに、手段となる事務事業の重点化について分析し、資源配分へと反映させます。

施策の分析と、事務事業評価から得られる事務事業の情報を連携させ、施策の方向づけと事務事業の相対的な方向づけ（重点化や改革改善）を一体的に行います。

③事務事業評価

事務事業について、個々の成果を把握し、改善方策を検討するものになります。

事務事業の成果を検証することにより、職員の業務改善やコストに対する意識を醸成しながら、提供する行政サービスの質的向上をめざします。

3. 成果体系とまちづくり評価の位置づけ

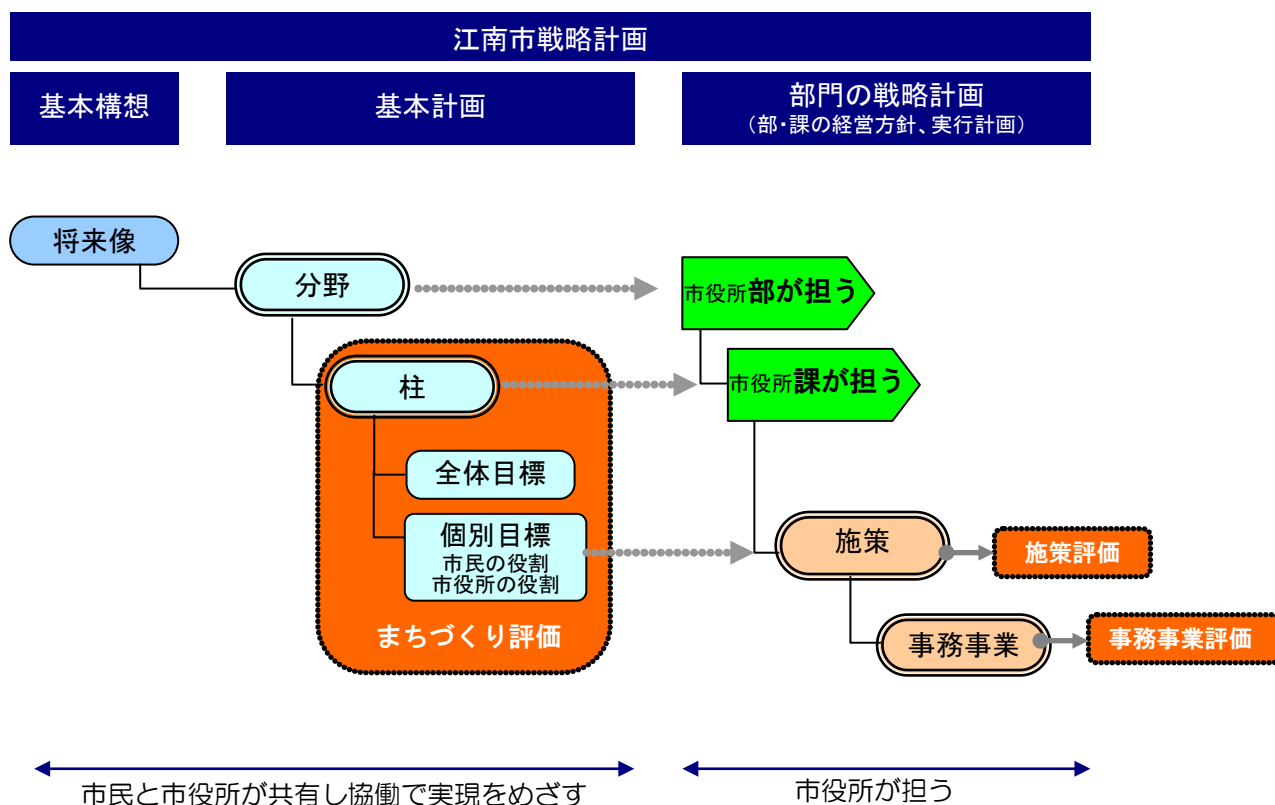
江南市戦略計画の基本計画は、5つの「分野」で構成され、「分野」の中には、成果の大きな括りとして「柱」が設定されています。「柱」の中には、市民と市役所が共有し協働でめざしていく具体的な成果目標が「全体目標」「個別目標」として掲げられています。

「柱」に掲げられた「全体目標」「個別目標」の達成度を測定し、今後の取り組みの方向性を明らかにするのがまちづくり評価となります。

また、「個別目標」を、市役所がどのような方策で実現していくのかを示すものが「施策」であり、具体的な手段を示すのが「事務事業」となります。そして、それらが「部門の戦略計画」の中に位置づけられています。

江南市戦略計画では、基本計画に掲げられている成果目標を、市役所のどの組織が、どのような方策（施策・事務事業・予算）によって実現していくのかを明らかにする点に特徴があります。下図のとおり、基本計画の「分野」を受け持つ「部」、「柱」を受け持つ「課」が明示され、その課が推進する「施策」が、基本計画の「個別目標」の実現方策として整理されています。

まちづくり評価は、成果体系の「柱」の部分の評価するものです。



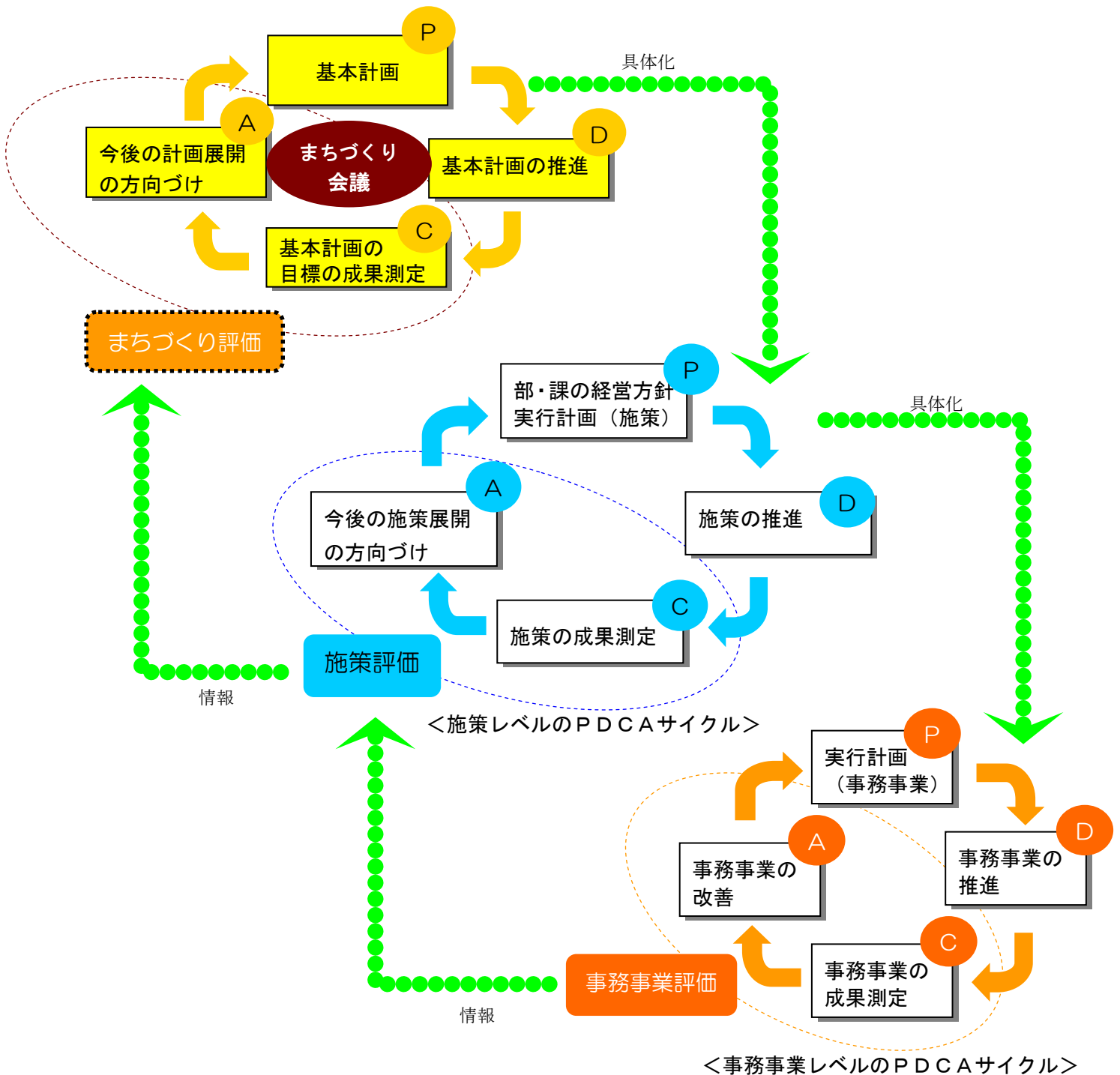
【成果体系と行政評価の位置づけ】

4. マネジメントサイクルにおけるまちづくり評価の位置づけ

基本計画に関するPDCAのマネジメントサイクルは、次のような流れで循環します。各課では、基本計画（PLAN）の成果目標の達成に向けて、施策とそれを支える事務事業を執行します（DO）。基本計画見直しの年には、まちづくり評価により成果達成の状況を測定し（CHECK）、さらに次の基本計画展開の方向づけを行い、必要があれば基本計画を見直します（ACTION）。

まちづくり評価は、基本計画の柱ごとに各課において作成したまちづくり評価シート（たたき台）を基に、まちづくり会議で実施します。

<基本計画レベルのPDCAサイクル>



5. まちづくり評価結果の公表

まちづくり評価結果については、市民への説明責任を果たすという観点から、広く地域の構成員が共有できるよう、平成29年度の実績値が確定した後に、平成30年度のまちづくり会議で「江南市戦略計画達成状況報告書」としてとりまとめ、広報、ホームページで公表します。


まちづくり評価シート(イメージ)

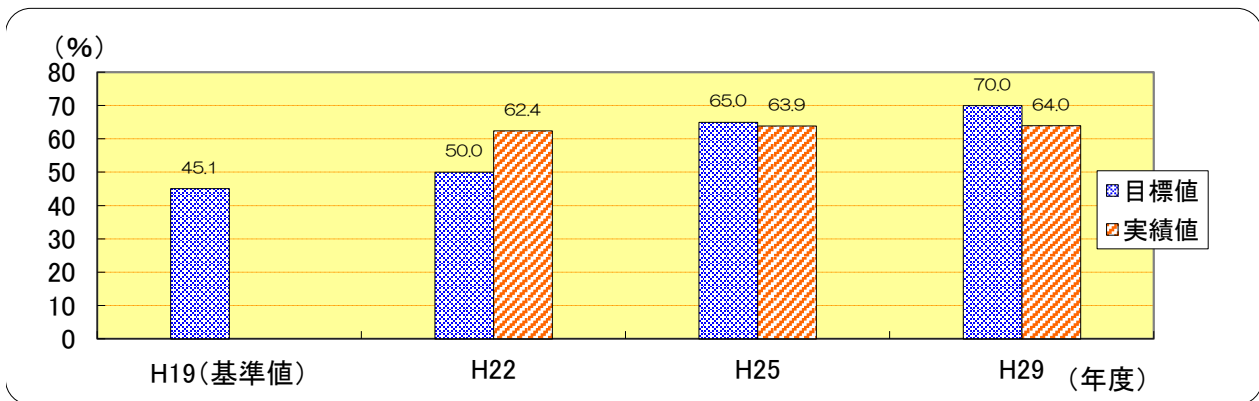
危機管理室【担う分野: I 生活環境、産業分野】

防災安全課【担う柱:1 安心・安全な地域づくり】

◆まちづくり(成果目標)の達成状況

全体目標 犯罪や災害への不安が少なく、市民が安心・安全に暮らしている。

指標名	犯罪や災害への不安が少ないと感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H19 (基準値)	H29	
目標値	%	—	70.0	防災訓練や資機材助成、地域安全活動促進、交通安全啓発活動の継続とともに、新たに道路照明灯のLED化や防災システムの導入により安心・安全なまちづくりを推進したものの、熊本地震の発生から南海トラフ巨大地震への懸念により実績値は微増にとどまっている。
実績値		45.1	64.0	
達成率	—	—	91.4	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価




目標については概ね達成できている。今後は、大規模地震発生時においても、地震対策に関する業務を実施するほか、最低限の市民生活の維持、治安の維持、経済活動の調整・支援等に必要な業務を円滑に継続することができるよう、現在策定中の「江南市業務継続計画」を踏まえ、非常時対応及び事前対策に万全を期す必要がある。


また、防犯や交通安全においては、所轄警察署、関係団体及び地元区とさらなる連携協力により啓発活動を継続するとともに、犯罪や交通事故の情報収集、分析により犯罪抑止や交通安全対策に取り組む必要がある。

個別目標① 災害への備えが行われている

指標名	非常持ち出し品や食料などを準備している市民の割合						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	46.0	47.0	48.0	50.0	・自主防災組織運営事業 ・災害時対応事業 ・総合防災訓練事業
実績値		14.4	—	—	—	38.7	
達成率	—	—	—	—	—	77.4	
達成状況	—	—	—	—	—		




取り組みの状況	
市民	自主防災訓練などに継続的に取り組み、訓練の中で避難所の備蓄品目、備蓄量を知り、自分たちの食料、水は自分たちで用意する大切さを学んだ。 5市町合同防災カレッジや各種研修会、講習会に参加し、災害は発生してからではなく、発生する前の予防、準備や心構えが大切であることを学んだ。
市役所	自主防災会会長会議を開催し、自主防災会の意見等を聴取したうえで、自主防災会主催による防災訓練を支援した。 自主防災訓練の中で、防災に対する啓発活動を行った。 5市町合同防災カレッジをはじめとした各種講演会などを開催した折に、災害に対する備えの重要性を啓発した。




指標名 防災用資機材助成の申請率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	96.0	97.0	98.0	100.0	・自主防災組織運営事業
実績値		83.8	79.4	81.1	79.7		
達成率		—	82.7	83.6	81.3		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	自分たちの地域は自分たちで守るという意志のもと、各地区が所有する資機材の保守、充実を図った。						
市役所	自主防災会会長会議の中で資機材助成金の申請方法について説明するとともに、災害時における初動体制の充実を図った。						

指標名 危機管理体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合							
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	43.0	45.0	47.0	50.0	・地域防災計画作成事業 ・防災行政無線更新事業 ・災害時対応事業 ・有事関連事業
実績値		25.4	—	—	—	30.3	
達成率		—	—	—	—	60.6	
達成状況	—	—	—	—	—		
取り組みの状況							
市民	講演会への参加により知識の向上に努めるとともに、自治組織内の情報共有を図った。						
市役所	市民の安全を確保するため、地域防災計画の見直しを実施するとともに、危機管理に係る計画の適切な運用を行った。 同報系防災行政無線、あんしん・安全ねっとメールサービス等の保守管理とともに、テスト配信及びテスト放送を行い、有事の際の対応に万全を期した。						

目標達成のための今後の展開方針	
<p>「自らの命は自らで守る。」という災害対応の基本を、市民一人ひとりの防災に関する考え方として広げていこう、さまざまな機会を通して啓発を継続する。</p> <p>区長・町総代会や自主防災会会長会議の折に、防災資機材等の整備を含む自主防災組織の役割や地域コミュニティの重要性を説明するとともに、自主防災会が実施する防災訓練を支援することにより、地域防災力の向上に繋げていく。</p> <p>防災センターが災害時の防災拠点として機能するよう、太陽光発電及び蓄電池システムを適切に管理することで、停電時における電力供給体制を維持する。</p> <p>同報系防災行政無線を含む災害情報の収集、伝達システムの適正な管理に努める。</p> <p>災害時において、通常業務の中断を最小限にできるよう、業務継続計画(BCP)を策定する。</p>	
個別目標に対するまちづくり評価	
<p>熊本地震の報道等を踏まえ、災害予測及びこれに基づく初動体制の確立、並びに災害時の復旧体制の重要性を再認識することができた。</p> <p>この地域でも近い将来、大きな地震が発生する可能性が極めて高いことから、行政と地域が連携した災害復旧体制を構築する必要がある。</p>	

個別目標② 地域の防犯体制が整い、犯罪が減っている

指標名		犯罪発生件数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	件	—	1,410	1,327	1,244	1,160	・防犯対策事業
実績値		1,850	960	967	819		
達成率		%	—	146.9	137.2	151.9	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	広報こうなんやあんしん・安全ねっとメールサービスを活用し、防犯や犯罪情報などの情報を収集し、防犯対策を実施した。						
市役所	広報こうなんやあんしん・安全ねっとメールサービスを活用し、防犯や犯罪情報などの情報提供や防犯対策啓発活動などを実施した。						

指標名		地域安全パトロール実施率					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	95.6	97.1	98.5	100	・防犯対策事業
実績値		59.2	92.6	89.9	89.9		
達成率		%	—	96.9	92.6	91.3	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	地域安全パトロール隊として巡回した。						
市役所	地域安全パトロール隊との巡回や、地域安全パトロール隊や江南警察署、関係機関などと合同で防犯啓発活動を実施した。江南警察署からの犯罪状況を地域安全パトロール隊へ情報提供した。						

目標達成のための今後の展開方針
地域安全パトロール隊の巡回に加え、防犯啓発活動を推進する。 地域安全パトロール隊、江南警察署など関係機関との連携を強化する。

個別目標に対するまちづくり評価
地域安全パトロール隊は各地域で設置され、実施率は高い割合となっているが、参加者は固定・高齢化の傾向があることから、組織強化及び活動促進に係る支援が必要である。 刑法犯罪発生件数は減少しているものの、凶悪な事件が発生していることから、江南警察署や関係機関などと連携を密に、犯罪の抑止に努める必要がある。

個別目標③ 交通事故が減っている

指標名	交通事故発生件数 (人身事故)						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	件	—	580	555	530	500	・交通安全事業 ・交通安全対策事業 ・交通安全施設設置事業 ・交通安全施設管理事業
実績値		698	597	599	581		
達成率		%	—	97.2	92.7	91.2	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	交通事故の危険箇所の調査、検証を実施し、市や警察に改善要望を提出した。						
市役所	交通事故の危険箇所や地域からの要望に対する交通安全施設の設置や交通安全施設の保守点検、地域ボランティアや江南警察署などと交通安全啓発活動を実施した。						

目標達成のための今後の展開方針

江南警察署より収集した交通事故の詳細な原因などの情報を分析し、交通安全啓発活動や交通安全施設設置箇所などの参考資料として活用していく。
交通安全施設の設置要望箇所の状況等を踏まえ、道路照明灯、反射鏡、区画線、警戒標識、交差点路面表示、点滅鋸、停止鋸の設置及び通学路のカラー整備を実施するとともに、必要に応じて改修を進めていく。

個別目標に対するまちづくり評価

毎年、交通安全施設設置事業として、道路照明灯や道路反射鏡などの設置や交通安全教室等を実施し、交通事故の減少に努めている。しかし、愛知県の死亡事故者数は全国ワースト1位となっており、継続してソフト、ハード両面の対策を講じていく必要がある。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

総合防災訓練や校下別自主防災会合同訓練、防災資機材の助成の継続実施により、市民の防災意識の高揚、地域防災力の向上に繋がった。
また、全国瞬時警報システム(J-ALERT)と連動したあんしん安全ねっとの更新により情報伝達時間の短縮など、有事の際の情報伝達力の強化を図り、安心・安全なまちづくりに貢献した。
さらに、地域安全パトロール隊への活動促進、交通安全啓発活動の継続実施により、市民を脅かす犯罪や交通事故の抑止に寄与することができた。

◆柱全体の今後の課題

コミュニティの高齢化・弱体化により地域の防災、防犯及び交通安全活動が沈滞化することが危惧されるため、今後も事業を継続していくうえで、いかに地域の自主的活動を支援していくかが課題である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

区長、自主防災会会長、地域安全パトロール隊など地域の安心・安全を担うリーダーの高齢化が進むなか、コミュニティの中心的役割を果たす次世代リーダーの育成、及び地域の安心・安全に係る活動の継続を自治会に要請する。
情報伝達手段の保守点検及び効果的な活用により、有事の際の迅速かつ確かな情報伝達に努める。
交通安全施設の保守点検及び交通事故危険箇所への効果的な新設により、交通安全の確保に努める。

まちづくり会議のスケジュール

開催時期		会議等	会議の検討内容
平成 29 年度	【第1回】 9月28日 (木)	分野別会議	市民満足度調査結果の報告 基本計画の成果目標の達成度の検証（まちづくり評価）
	【第2・3回】 10～11月		基本計画の成果目標の達成度の検証（まちづくり評価）
	【第1回】 12月22日 (金)	全体会議	基本計画の成果目標の達成度の検証（まちづくり評価）
平成 30 年度	10月	分野別会議	戦略計画達成状況（後期計画期間）の把握・意見交換
	11月	全体会議	戦略計画達成状況（後期計画期間）の把握・意見交換 戦略計画達成状況報告書の作成